

- 問34 追い越されるときは追い越しが終わるまで速度をあげてはならない。
- 問35 高速道路の加速車線を通して本線車道に入ろうとすると、他の自動車との事故防止のため、必ず速度を落とさなくてはならない。
- 問36 交通事故現場で頭部に傷を受けている負傷者がいる時には、むやみに動かさない方がよい。
- 問37 走行中、エンジンの回転数が上がったまま下がらないときは、四輪車の場合は直ちにギアをニュートラルにする。
- 問38 普通貨物自動車の積載物の幅は車の幅の10分の1までは、はみ出して積むことができる。
- 問39 道路の左端に沿って駐車している車が発進するときは、右折や進路変更と違うので、安全確認や合図はしなくてもよい。
- 問40 交通整理の行なわれていない、道幅が同じ交差点では、左方の車の進行をさまたげてはならない。
- 問41 白や黄色の杖を持った歩行者がいる場合は、一時停止が徐行してその歩行者が安全に通れるようにすべきである。
- 問42 高速道路で、四輪車が故障などで停止する場合、夜間であっても、停止表示器材を置けば、非常点滅表示灯や尾灯などはつけなくてもよい。
- 問43 長い下り坂を走行するときは、エンジンブレーキを使わずにフットブレーキを使うのが良い。
- 問44 無段変速装置採用のオートマチック二輪車の場合、低速走行の際にスロットルを完全に戻すと車輪にエンジンの力が伝わらなくなる。
- 問45 高速道路で本線車道に入ろうとすると、加速車線を通して十分加速する。
- 問46 雨の日、歩行者や自転車の側を通るとき、水はねをしない様に気をつけていると、速度が落ち、交通が混雑するのでそのままのスピードで通過してよい。
- 問47 交差点で右折しようとして停止したときの自分の位置が悪く、後方からくる直進車の進行を妨げたとしても、自分本位の運転とはいえない。
- 問48 普通免許(オートマチック車に限る)で3年以上たてば普通自動車(オートマチック車を除く)を運転できる。
- 問49 タイヤと路面との摩擦抵抗が小さいほど、制動距離は短くなる。
- 問50 長い坂を下る時は、エンジンブレーキを効かせておかないと、フェード現象やペーパー・ロック現象を起こし、ブレーキが効かなくなることがある。
- 問51 長時間にわたって運転するときは、少なくとも2時間に一回くらいは休憩をとったほうがよい。
- 問52 高速自動車国道での車間距離は、路面が乾燥しタイヤがすり減っていない場合、100キロメートル毎時では約100メートルである。
- 問53 普通免許を持っている人は原動機付自転車は運転することが出来るが、小型特殊自動車は運転出来ない。
- 問54 二輪車の乗車姿勢は、背筋を垂直に伸ばし、両ひじをやや曲げて肩の力を抜くようにする。
- 問55 疲れているときの運転が危険なのは、視力が低下し、正常な安全確認ができないことと、注意力、判断力が鈍り空走距離が長くなり危険性が高くなるからである。
- 問56 通行量の多い幹線道路や交差点で事故を起こしたときは、事故が続いて起こることを防ぐため発煙筒で後車に危険であることを示すことが大切である。
- 問57 普通又は大型の自動二輪免許をはじめを受けて1年を経過しないと2人乗りすることは出来ない。
- 問58 信号機など交通整理の行われている三車線以上の通行帯の交差点で原動機付自転車が右折する場合は二段階の方法で行う。
- 問59 長距離の場合は、経路設計をしなければならないが、短距離の場合はしなくてもよい。
- 問60 駐車禁止の標識がない道路でも右側に駐車してはならない。
- 問61 踏み切りとその端から前後10メートル以内の場所は、危険防止の為やむを得ず停止する以外は、駐車も停車もしてはいけない。
- 問62 指定通行区分に従って通行しているときに緊急自動車が近づいてきたので、その指定通行区分が終わってから緊急自動車の進路をゆずった。
- 問63 道路上に駐車する場合、同じ場所に引き続き12時間以上、夜間8時間以上駐車してはならない。